

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションデザイン演習 I Fashion Design Seminar I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(なし)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションショー I、ファッションデザイン演習 II				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
笹崎 綾野	福祉棟 3F	授業中に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
ファッションデザイン演習 I では、平面製図法で各自の体型に合わせたタイトスカートの設計法に触れ、スカートやズボンなどのボトムを教材として、デザイン、パターンメイキングから縫製までの衣服設計の基礎を習得することを目指す。また、人体計測法、衣服製作に必要な用具の名称や使用方法、素材の扱い方、アイロンやミシンの使い方などの基礎知識について学ぶ。				
授業の目標				
①衣服造形の基礎(人体計測、デザイン、設計、補正、製作)を理解できるようにする。 ②ボトムをデザインし、製作できるようにする。 ③アイロン、ミシンなどを適切、且つ安全に使用できるようにする。				
授業の方法				
演習形式。作品製作を取り入れ、衣装設計・製作の実践力の習得を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①人体計測法、デザイン、平面製図法、型紙作成、裁断、縫製、仕上げの一連の流れを経験できる。 ②衣服製作に必要な用具の名称を修得でき、それらを正しく使うことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション、スカート原型：「タイトスカート」製図法			
第2回目	人体計測法			
第3回目	ボトム製作：デザイン			
第4回目	ボトム製作：設計① 前スカート(前ズボン)			
第5回目	ボトム製作：設計② 後ろスカート(後ろズボン)			
第6回目	ボトム製作：型紙作製			

第7回目	ボトム製作：サンプル製作① 裁断	
第8回目	ボトム製作：サンプル製作② 縫製	
第9回目	ボトム製作：サンプル製作③ 補正	
第10回目	ボトム製作：本布裁断	
第11回目	ボトム製作：本布縫製① 前スカート（前ズボン）	
第12回目	ボトム製作：本布縫製② 後ろスカート（後ろズボン）	
第13回目	ボトム製作：本布縫製③ ファスナー	
第14回目	ボトム製作：本布縫製④ ウエストベルト、仕上げ	
第15回目	まとめ、発表・講評、成果物・製作レポートの提出	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく、積極的に授業に参加しているかを評価する。
レポート	20%	製作レポート（第15回）について、製作工程や方法が適切にまとまっているか、製作方法について挿絵を用いるなどまとめ方に創意工夫がみられるかを評価する。さらに、期限内に提出されているかを評価に加える。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	10%	発表（第15回）について、製作作品を着装した上で、デザインのポイントや製作上の創意工夫、感想等が分かりやすく発表できているかを評価する。
その他	40%	成果物（第15回）について、作品がきれいに仕上げられているか、製作工程通りに作業が進められたか、デザインに創意工夫がみられるかを総合的に評価する。また、期限内に作品が提出されているかを評価に加える。
教科書と参考図書		
教科書：中屋典子・三吉満智子 監修 『服装造形学 技術編Ⅰ』 文化出版局 参考書：三吉満智子 監修 『服装造形学 理論編Ⅰ』 文化出版局		
履修上の留意点・ルール		
演習授業の為、原則、欠席・遅刻を認めない(やむをえない場合は、2/3以上の出席とする)。材料費(布、副資材、ファイル等)は自己負担とする。忘れ物、飲食、私語、携帯電話の使用を禁ずる。		